

## 【旭川高専】【北海道地区4高専半導体人材育成連携推進室】

### 本校卒業生のエンジニアによる講演・交流会を実施しました

5月29日（金）、Rapidus 株式会社に勤務する本校の卒業生2名が来校し、1・4年生を対象とした授業内でご講演いただいたほか、全校の希望者を対象に、卒業生2名を囲んで交流会を開催しました。

来校されたのは、機械システム工学科OBの月森大輔さんと、電気情報工学科および生産システム工学専攻OGの中島渉さんです。電気情報工学科4年生の「電子回路Ⅰ」と半導体・電気情報通信工学科1年生の「半導体・電気情報通信概論」の授業枠内でご講演いただきました。1年生の授業では、後日、振り返りと発表を行いました。

お二人の卒業生からは、「高専での学びが社会でどのように活かされているのか」や「進路選択を考える上で大切な視点」についてお話がありました。特に、学生時代の取り組みや現在の業務内容、職場環境に加え、「働いてみて実感した高専での経験の価値」や「在学中に取り組んでおくことよいこと」について、具体的に紹介していただきました。

質疑応答では、専門分野に関する質問のほか、就職活動や働き方など将来を見据えた幅広い質問が寄せられ、学生にとって実践的な学びの機会となりました。

後日行われた1年生の振り返りでは、各班の学生が講演内容を整理し、「在学中に身につけておくべき力」や「将来の働き方・キャリアの考え方」などについて発表を行いました。

学生らは、発表を通じて、PDCAサイクルの重要性や、安全性を意識したものづくりの大切さ、高専で学ぶことの強み、資格取得や進路選択に関する視点などについて理解を深めました。

なお、本取り組みの様子は、以下のテレビ番組でも紹介されました。

6月8日（月） NHK「ほっとニュース道北・オホーツク」

